

科目名	ソルフェージュ		担当教員	村田 睦美	
単位	1単位	講義区分		ナンバリング	ED1MSF101
期待される学修成果	基礎教養 教科教育				
アクティブラーニングの要素	グループワーク				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	音楽活動に必要な基礎的な読譜力や音楽力を習得し、伸ばす。正しい音程で視唱、リズム視唱、視奏、及びリズム打ち、聴音書き取りができる。				
授業の概要	基礎として視唱、視奏、聴音、読譜、リズム等を学習、また、歌いながらの指揮も行う。それぞれの基礎能力は総合的に作用しあうものであり、視唱は調、拍子を設定、練習を繰り返して徹底、聴音は視唱と関連を持たせ、楽譜の書き方、正しい記譜の仕方を確認する。中学校等の教科書を使って難易なリズムや副旋律を取り上げる。オムニバスとし、読譜、視唱、視奏の他に、A部門では聴音、B部門では伴奏付け等も行う。A部門は音楽教室、B部門はML教室を使用する。				

授業計画	
第1回	これまでの学習を確認、レベルチェック
第2回	〈A部門〉リズムゲーム、リズムアンサンブル、リズムチャレンジ（第2～8回荒木担当）
第3回	〈A部門〉課題曲：メッセージ 視唱・視奏・聴音
第4回	〈A部門〉課題曲：時の旅人 視唱・視奏・聴音
第5回	〈A部門〉課題曲：花 視唱・視奏・聴音
第6回	〈A部門〉課題曲：サンタルチア 視唱・視奏・聴音
第7回	〈A部門〉リズムゲーム 作成と発表・実践
第8回	〈A部門〉まとめ。聴音と新曲の確認試験
第9回	〈B部門〉リズム・拍子（第9～15回村田担当）
第10回	〈B部門〉音程
第11回	〈B部門〉複数パートの演奏・弾き歌い
第12回	〈B部門〉ピアノ伴奏付け・コード奏
第13回	〈B部門〉弾き歌いと指揮
第14回	〈B部門〉初見視奏、キーボード・アンサンブル
第15回	〈B部門〉まとめ。複数パートの視唱奏、指揮付きの視唱奏、伴奏付けの確認試験

事前学修	0.5時間	毎時、取り組む課題曲の読譜。
事後学修	0.5時間	毎時、取り組んだ内容について理解度をチェックをする、課題箇所や授業時に指示された曲を練習。
フィードバックの方法	取り組みの理解度をチェックすることを課し、質問に対してコメントする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価	60%	各回の授業での取り組みと理解度のチェックの回答内容をA、B部門両方の合計で評価する。
上記以外の試験・平常点評価	40%	A、B部門ごとに確認試験を実施し、基本的な技能が修得できたかをA、B部門両方の合計で評価する。
定期試験	0%	実施しない

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
中学生の音楽 1	教育芸術社編	教育芸術社	978-4-87788-850-3	なし
中学生の音楽 2・3 上	教育芸術社編	教育芸術社	978-4-87788-851-0	なし
中学生の音楽 2・3 下	教育芸術社編	教育芸術社	978-4-87788-852-7	なし
参考資料	授業時に適宜紹介する			

科目名	ソルフェージュ		担当教員	荒木 善子	
単位	1単位	講義区分		ナンバリング	ED1MSF101
期待される学修成果	基礎教養 教科教育				
アクティブラーニングの要素	グループワーク				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	音楽活動に必要な基礎的な読譜力や音楽力を習得し、伸ばす。正しい音程で視唱、リズム視唱、視奏、及びリズム打ち、聴音書き取りができる。				
授業の概要	基礎として視唱、視奏、聴音、読譜、リズム等を学習、また、歌いながらの指揮も行う。それぞれの基礎能力は総合的に作用しあうものであり、視唱は調、拍子を設定、練習を繰り返し徹底、聴音は視唱と関連を持たせ、楽譜の書き方、正しい記譜の仕方を確認する。中学校等の教科書を使って難易なリズムや副旋律を取り上げる。オムニバスとし、読譜、視唱、視奏の他に、A部門では聴音、B部門では伴奏付け等も行う。A部門は音楽教室、B部門はML教室を使用する。				

授業計画	
第1回	これまでの学習を確認、レベルチェック
第2回	〈A部門〉リズムゲーム、リズムアンサンブル、リズムチャレンジ（第2～8回荒木担当）
第3回	〈A部門〉課題曲：メッセージ 視唱・視奏・聴音
第4回	〈A部門〉課題曲：時の旅人 視唱・視奏・聴音
第5回	〈A部門〉課題曲：花 視唱・視奏・聴音
第6回	〈A部門〉課題曲：サンタルチア 視唱・視奏・聴音
第7回	〈A部門〉リズムゲーム 作成と発表・実践
第8回	〈A部門〉まとめ。聴音と新曲の確認試験
第9回	〈B部門〉リズム・拍子（第9～15回村田担当）
第10回	〈B部門〉音程
第11回	〈B部門〉複数パートの演奏・弾き歌い
第12回	〈B部門〉ピアノ伴奏付け・コード奏
第13回	〈B部門〉弾き歌いと指揮
第14回	〈B部門〉初見視奏、キーボード・アンサンブル
第15回	〈B部門〉まとめ。複数パートの視唱奏、指揮付きの視唱奏、伴奏付けの確認試験

事前学修	0.5時間	毎時、取り組む課題曲の読譜。
事後学修	0.5時間	毎時、取り組んだ内容について理解度をチェックをする、課題箇所や授業時に指示された曲を練習。
フィードバックの方法	取り組みの理解度をチェックすることを課し、質問に対してコメントする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価	60%	各回の授業での取り組みと理解度のチェックの回答内容をA、B部門両方の合計で評価する。
上記以外の試験・平常点評価	40%	A、B部門ごとに確認試験を実施し、基本的な技能が修得できたかをA、B部門両方の合計で評価する。
定期試験	0%	実施しない

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
中学生の音楽 1	教育芸術社編	教育芸術社	978-4-87788-850-3	なし
中学生の音楽 2・3 上	教育芸術社編	教育芸術社	978-4-87788-851-0	なし
中学生の音楽 2・3 下	教育芸術社編	教育芸術社	978-4-87788-852-7	なし
参考資料	授業時に適宜紹介する			